

ドローイングとは「描く」
DRAWING

COMMUNICATION 2014

ドローイングコミュニケーション 2014

5/14 (wed.) ~ 5/18 (sun.) 10:00am ~ 5:00pm 入場無料

ギャラリートーク 5/16 (fri.) 1:00pm ~

沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館2階展示室

本展では、主に「紙」を

共通のベースとし、

それぞれが自由な発想で

ドローイングという表現

参加大学：沖縄県立芸術大学・琉球大学・沖縄大学

福岡教育大学・名古屋造形大学・東北生活文化大学

サラエボ大学ファインアートアカデミー

方法と向かい合います。

<http://www.okigef.ac.jp/peindling/drawing.html>

DRAWING COMMUNICATION 2014

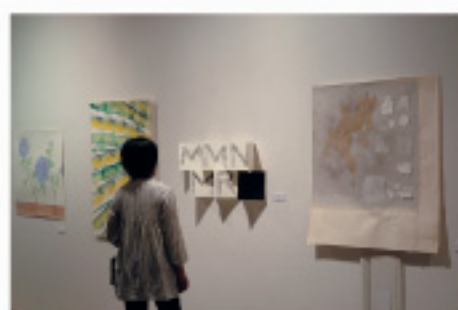
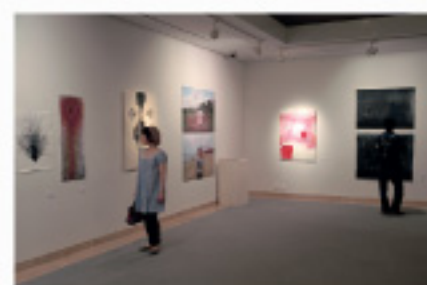
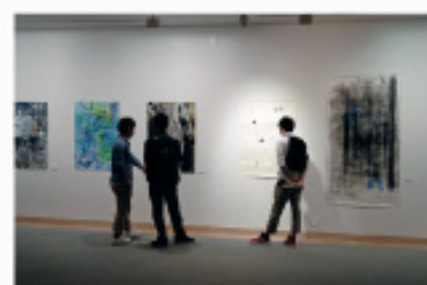
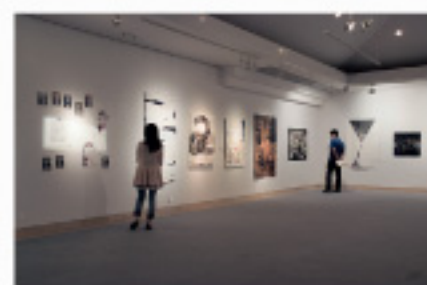
5/14(水)~5/18(日) 10:00am~5:00pm 入場無料

※ギャラリートーク5/16(金) 1:00pm~

沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館2階展示室

沖縄県立芸術大学絵画専攻油画では、2008年より学部2年生以上の学生を対象に、そのスタート課題として「ドローイングコミュニケーション」と名付けた授業を始めました。その目的は、近年、表現手段のひとつとしてジャンルが確立されてきたドローイングワークを通して、絵画表現の裾がりを探るとともに、制作したドローイングを持ち寄り、全体像を見渡して互いに共有できるベース(素材の応用やイメージの裾がり)を確認することに重点を置いています。また、一年間の授業を始めるにあたって、それぞれがウォーミングアップしてみようというねらいも持っています。今回も「紙」を媒体にすることと展示の大きさのみ決めて、その表現方法は自由にそれぞれがドローイングワークに臨みました。

琉球大学、沖縄大学、福岡教育大学、名古屋造形大学、東北生活文化大学、サラエボファインアートアカデミーの参加・協力をいただき、本学の学生、教員を合わせ50点以上のドローイング作品を展示します。今後、さらに交流を重ねることで互いにそれぞれの状況や環境を理解し、刺激として表現を高めあうことができればと考えています。



※案内の郵便番号は〒903-8602です。所在地は沖縄県那覇市首里首里1-4-1
 ○路線バス/バス停「首里」下車・徒歩1分
 ○モノレール/「首里」下車・徒歩10分
 〒903-8602 沖縄県那覇市首里首里1-4-1
 問い合わせ先：098-882-6049
 info@okigai.ac.jp

絵画HP <http://www.okigai.ac.jp/painting/>

ドローイングコミュニケーション2014
<http://www.okigai.ac.jp/painting/drawing.html>

1. 辻原 真央 「紙1」
2. 玉城 博君 「紙」
3. 高平の 崇徳 「つぎあわせ」
4. 崎原 直子 「ドローイングA」
「ドローイングB」
5. 上杉 敦史 「紙1」
「紙2」

